

おお大勝利

令和4年度 山東サッカー部報第1号 (4月12日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

県3部リーグ 終盤の失点で敗北スタート

4月9日(土) 待ちに待ったシーズン開幕、**高円宮杯U18山形県リーグ2022の3部A第1節**が行われました。日曜日第1節のリーグもありますが、4月第2週の週末がほとんどのチームにとってシーズン開幕となる。山東は降格による初の3部を戦う。**1年で2部復帰をかけて、結果にこだわってリーグを戦うつもり。**

ただし、春休み期間中まで対外試合が禁止されていたため、リーグ戦を戦う中でチームを作っていくイメージ。リーグ戦は、地区総体、県総体までの調整っていう感じですかね。でも、そんな悠長なことは言ってもらえない。2部復帰をかけて、特に3年生のいる前期のうちに山東は勝ち点を稼がなければならない。

会場は山形中央高校グラウンド。クレーは気にならないが、暑くてグラウンドが固いため、ボールが必要以上に弾む。技術不足でなかなかボールが収まらない戦力を考えると、時折吹く強風もあいまって心配になる。新2・3年生は19人しかおらず、入学したての**ショゴ**(山東第43回卒で私と山東サッカー部同期¹の会田さんのご子息)を加えて、ギリギリの戦力で臨む。都合が悪く、**清野総監督**と**後藤報道局長**がいらっしやらなかった。勝って良い報告をしたいところ。保護者は受付を済ませると観戦できる。ただ、コロナで無観客が多かったためか、コロナ感染対策としてリモートを意識しているためか、まとまった保護者の応援という景色ではなく、見慣れない風景が広がる。息子娘が山東サッカー部にいたことによって保護者の仲が深まり、卒業後も友人になっている保護者をこれまでたくさん見てきただけに、コロナの負の影響を思わずにいられない。スタメンには、腰痛を克服して**CBカンタ**が名を連ねた。ずっとリハビリをしてきた姿をみんな知っているだけに、素直にうれしい気持ちになる。相手は山形城北B。

さて、試合が始まると、さっそく山東ペース。**グッチ**と**シュンスケ**の**3年ボランチコンビ**がしっかりボールを回収して厚く攻めることができている。もっと精度が上がると、シュートまで行けるのだろうが、最後タッチやキックがズレるため、チャンスにはならない。もっとアウトサイドで起点が作ればいいのだが、深く攻めてマイナスのセンターリング!なんていう場面が少なかった。前半1度、**3年FWカナタ**が相手DF裏に落とされたボールを抜け出して、**GKと1対1**の場面になり、前に出ているGKの頭を越えるループシュートを放つも、ループが大きすぎて得点には至らない。まあカナタらしいシュート。前半両チームスコアレス。

相手にほぼ有効なシュートを打たせなかった内容で、得点できなかったのは痛い。グッチを中心に、もっとシュートの意識を持つようけしかけて後半に入る。カンタは、長い時間

¹ ちなみに、2年ヤマトの父で現在コーチもしてくれる佐竹コーチ、前保護者会長の秋葉さん、そして今回の会田さんは皆、サッカー部同期です。主将が会田さん、副主将が佐竹コーチでした。

のプレーで腰を痛めると悪いので前半でお役御免。**カナタ&ヤマトのCBコンビ**から、**タリョウ&ヤマト**のコンビに変更して後半に臨む。すると、後半、前半よりも相手のセンターラインの圧力が増し、ボランチのところでボールを奪いきれない、逆に奪われるシーンが目立ち始める。相手が対応してきたということ。もともとアウトサイドでボールを安定して保持できないだけに、真ん中で試合を落ち着かせられないのは痛い。時間の経過とともに、五分五分の内容になっていく。そして、その後半も、**FWカナタが抜け出してGKと1対1**になるも、カナタの早すぎるシュート（not 速すぎるシュート）が普通に枠を外れて、またしても逸機。昨年の選手権山形南戦でもそうだったが、DFを振り切ってGKと1対1になったとき、もっと間合いを詰めることのできる、何ならGKも抜くくらいのことができそうな楽なタイミングで、早めにシュート打ってしまうのはどうなんだろう。率直に言って、もったいないと思う。ただ、決定機はこれくらいだったか。ボールを持っていても、決定機につながらないアバウトな攻撃が多かった。逆に攻め急ぎをとがめる城北のカウンターの方がシュートチャンスを生み出していた。確かにヒヤッとする場面が多かった。奪われていけないゾーンでボールを奪われる、しっかり弾き返さなきゃいけない空中のボールの目測を誤り後逸する、五分五分のボールの争奪において逃げるように交わしに行き深くなる相手にボールを持って行かれる、そんなひどい対応が目につくようになった後半の後半、ゴール前で数的不利になり、**フリーでシュートを打たせてしまい、失点**。その後、得点を狙って攻めるも、決定機を作れず。**結局、シーズン開幕戦を0-1で落とす**。

失点やそこに至る軽いプレーの数々も反省すべきですが、勝ち点3という結果を狙いに行っただけに、攻撃の形がカナタの一本鎗しか見当たらなかったことの方が問題。いよいよ次節は新入生の出番でしょうかね。

次節も応援よろしくお祈りします。**試合時間変更ありますのでご注意を！**

4月16日(土) Y3A第2節 山形明正B戦 10:00~ @山形明正G

サッカー一部進学実績公開！

今年もサッカー部員(現浪合わせ)の進学先を公開します。ここ数年憤慨していることに、どうやら塾関係者を主として、山東の運動部に対して、「〇〇部に入ったら勉強できなくなるぞ」などの情報を流している模様。サッカー部はその〇〇の筆頭といったところ。「勉強が大切な山東で〇〇部に入ったら終わり」などの言葉を流し、勉強中心の生活をさせ塾にも通わせる、といったところか。そうしたデマを真に受けてしまう生徒・保護者もいるのが事実。サッカー部への入部を迷った生徒(マネージャー希望)の親が、「大学諦めるの！」と娘に迫り、入部を止めさせたなんてことも〇年前にありました。いわゆる**風評被害に合っている**のです。「だったら、**サッカー部員がいかに文武両道を実践しているか**、進学実績を公開して、風評に対抗してやろう」との思いから、今年も公開(現浪合わせ)。

東京大学	文科Ⅲ類 1名	理科Ⅰ類 1名
東京工業大学	生命理工学部 1名	
東北大学	文学部 1名	法学部 2名 経済学部 1名
慶應大学	商学部 1名	
千葉工業大学	先進工学部 1名	
東洋大学	経済学部 1名	
昭和大学	歯学部 1名	

**文武両道を貫いた山東サッカー部諸君
あっぱれ！**